

持続可能な観光プロジェクト（ST）作業の取組など

1. 持続可能な観光プロジェクト（ST）の作業について
2. STプロジェクトでの観光ビジネス基準作成

国際CEFACT観光部会
2021年2月18日（木）
中込昌治

1. 持続可能な観光プロジェクト(ST)作業について

JTRECにおけるUN/CEFACTプロジェクトは2019年9月19日発足し、精力的に取り組んでいる。しかし、世界的な新型コロナウイルス感染症であるCOVID-19のパンデミックにより延期をせざるを得ない状況であり、UN/CEFACTは当面1年遅れとしてプロジェクトを進める事となった。これまでに提出されている文書は以下の2件である。

(1) GREEN PAPER ON SUSTAINABLE TOURISM-EXPERIENSE PROGRAMS

(2) 台湾のタイ氏を中心にまとめたホワイトペーパー「200304_Project Proposal-Business Standards for Sustaiable Tourism-V2.2」(2020年2月21日 ドラフトCV.2)

(持続可能な観光のビジネス標準の貿易円滑化と電子ビジネスのためのUN/CEFACT成果への技術的適用に関するホワイトペーパー)

JTRECのプロジェクトでは、前記の2件の持続可能な観光ビジネス標準を受けて、観光産業に適用させるビジネス基準をまとめ、併せて貿易円滑化及び電子ビジネスに資するEP s TAの2つ開発プロジェクトで実施している。

2. 持続的観光のこれまでの主な取組経緯など

- (1) グローバル・サステナブル・ツーリズム協議会による国際基準及び推奨評価指標(GSTC 2018年)を大きく分けて次の4つのテーマに分けて提言している。

(本基準は宿泊施設及びツアーオペレーターを対象に策定された。)

- ①持続的可能性の高い計画の実施。
- ②地域住民の社会的・経済的な恩恵を最大限にすること。
- ③文化遺産の活性化
- ④環境負荷の提言

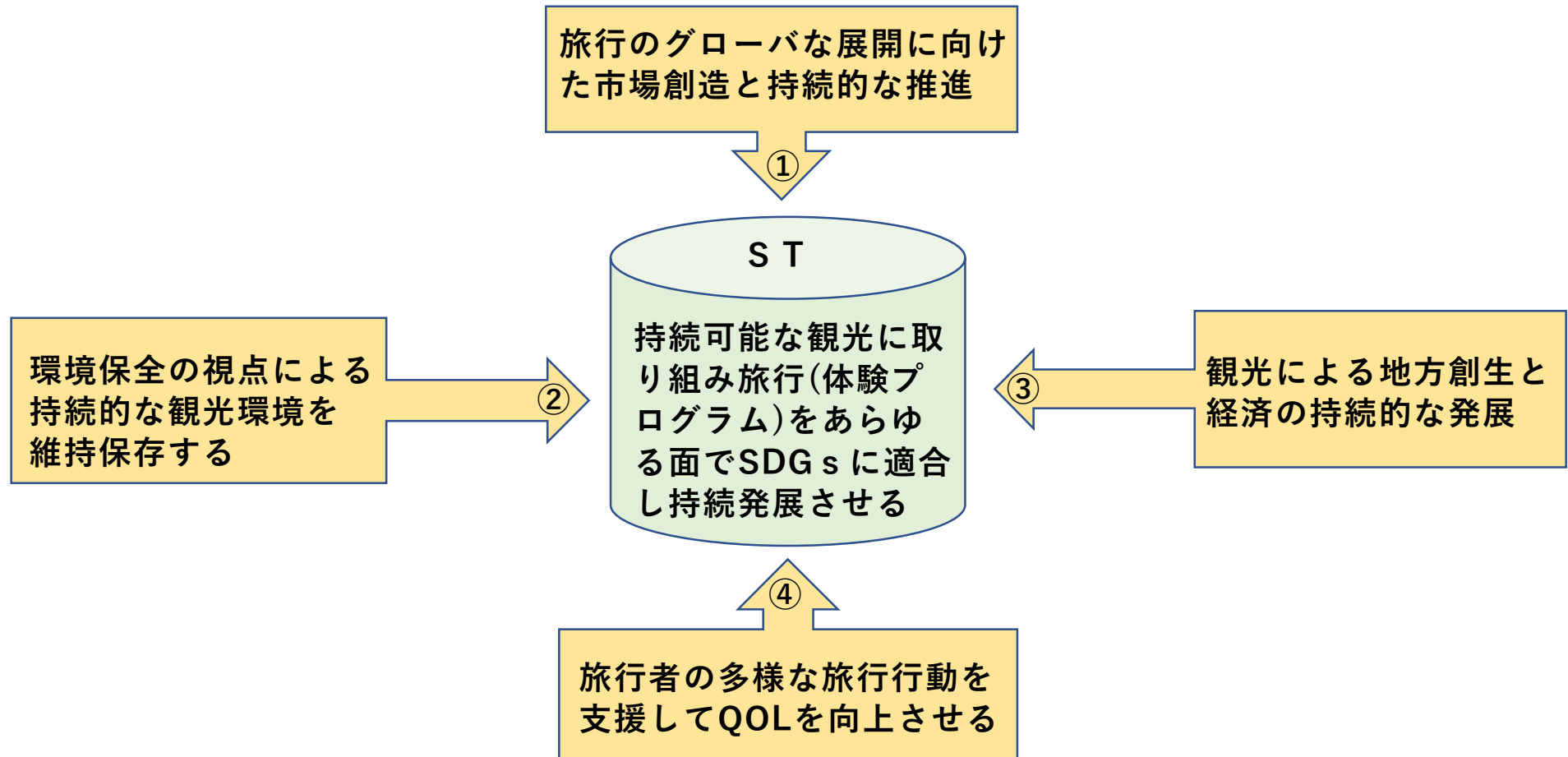
- (2) 欧州観光指標システム(欧州連合)

(持続可能な観光地管理のためのETIS 2016年)

- (3) 持続可能な観光のためのビジネス標準WP(検討中、UN/CEFACT)

AFACTで台湾が中心に提案しているST観光のビジネス標準で持続可能なST観光を(17目標・169ターゲット)の実現を、「1.食べる」、「2.宿泊」、「3.輸送」、「4.観光地」、「5.ショッピング」、「6.エンターテイメント」、「7.ツアーオペレーター/ツアー代理店」、「8. 地方政府」の8つを対象に持続可能な観光を定義しガイドラインを作成中である。

3. SDGsに課せられた持続的な観光ビジネスの捉え方



4. STプロジェクトでの検討作業取組について

- ① 2015年9月25日第70回国連総会で採択され、SDGsは「我々の世界を変革する」を目標に2030アジェンダとして現在に至っている。
- ② STプロジェクトのミッションは観光に関わるSDGsの精神に基づいたガイドライン（観光ビジネス基準）である。これにより持続する観光をグローバルに発展させ、且つ観光産業をSDGsの目標に変革を提案する。
- ③ 図-1で示す観光構成要素を括りとしてビジネス基準作成する。

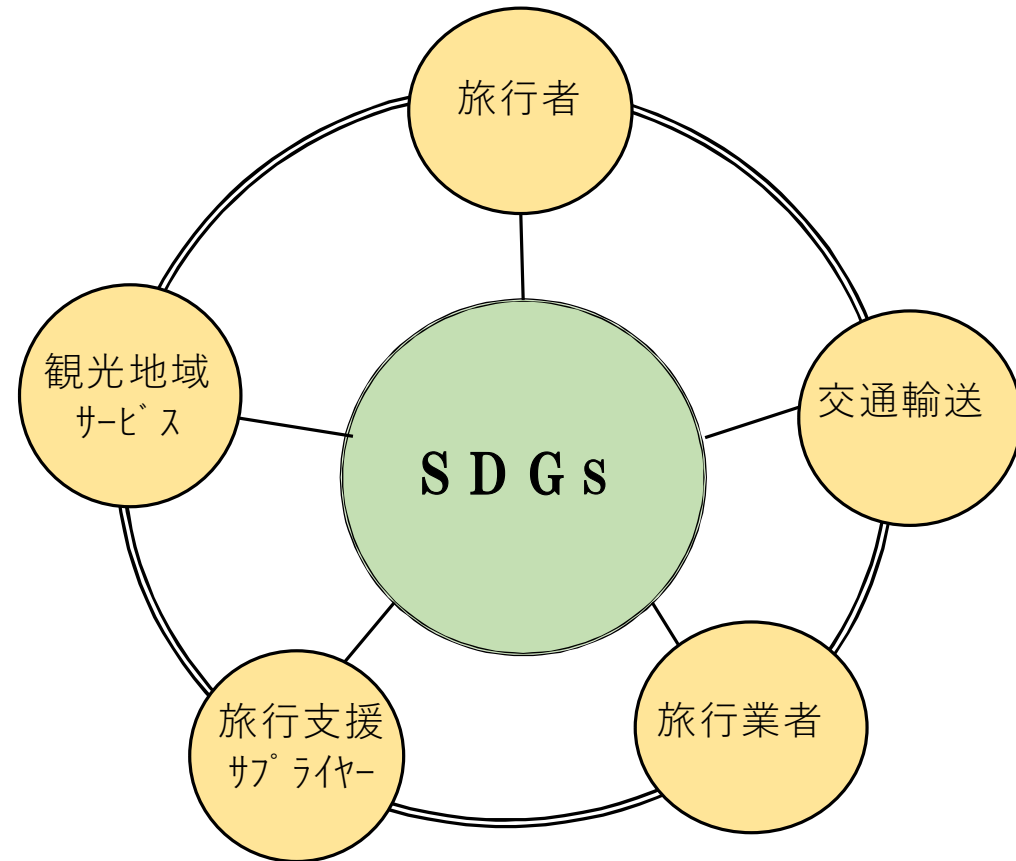


図-1 ビジネス基準関連図

④ 我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダから引用（5P）

人間

：我々はあらゆる形態及び側面において貧困と飢餓に終止符を打ち、全ての人間が尊厳と平等の下に、そして健康な環境の下に、この持てる潜在能力を発揮することができることを確保することを決意する。

地球

：我々は、地球が現在及び将来の世代の需要を支えることができるように、持続可能な消費及び生産、天然資源の持続可能な管理並びに気候変動に関する行動をとることを含めて、地球を破壊から守ることを決意する。

繁栄

：我々は、全ての人間が豊かで満たされた生活を享受することができること、また、経済的、社会的及び技術的進歩が自然との調和のうちに生ずることを確保することを決意する。

平和

：我々は、恐怖及び暴力から自由であり、平和的、公正かつ包摂的な社会を育んで行くことを決意する。平和なくしては持続可能な開発はあり得ず、持続可能な開発なくして平和はあり得ない。

パートナーシップ

：我々は、強化された地球規模の連帯の精神に基づき、最も貧しく最も脆弱な人々の必要な特別の焦点をあて、全ての国、全てのステークホルダー及び全ての人の参加を得て、再活性化された「持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップ」を通じてこのアジェンダを実施するに必要とされる手段と動員することを決意する。

5. SDGsと持続的観光のビジネス基準を連携

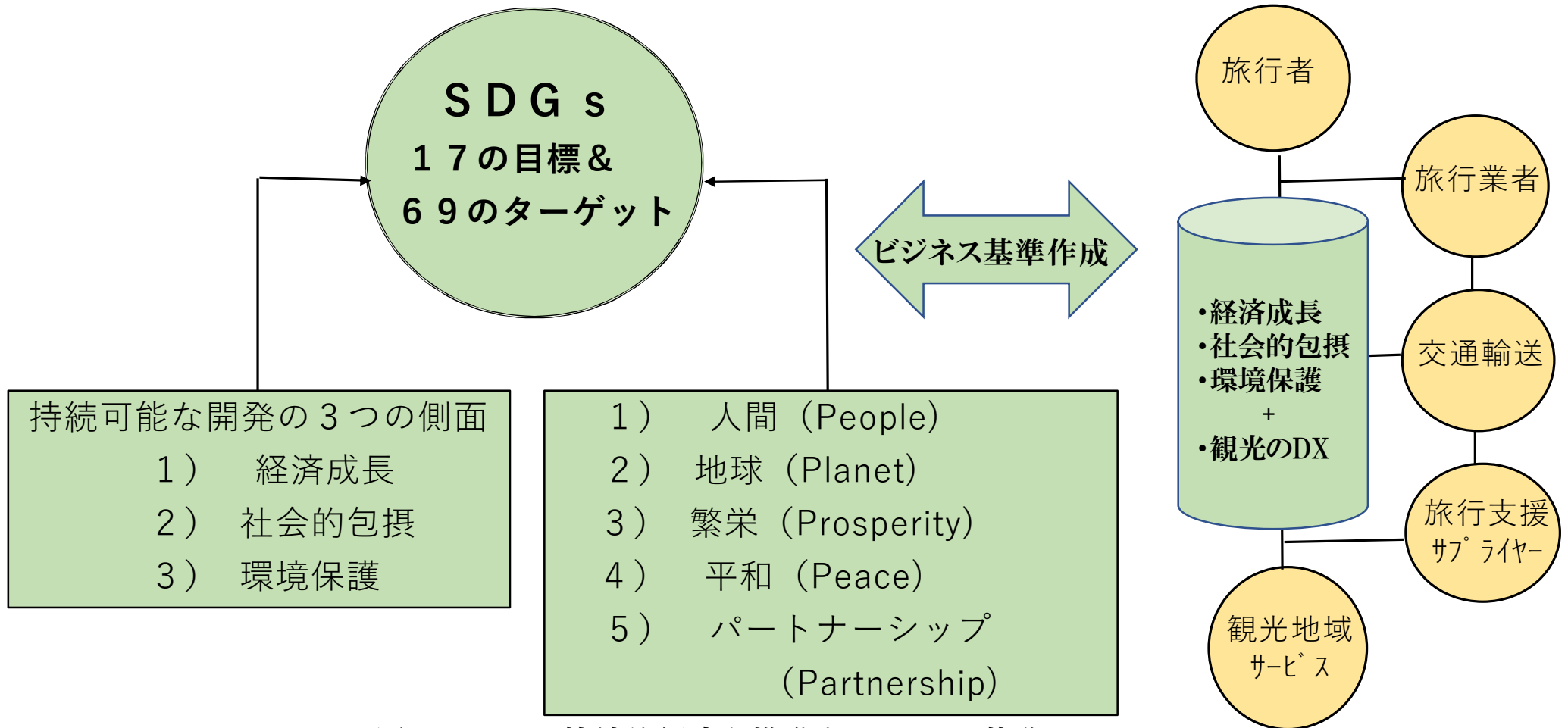


図-2 SDGsと持続的観光を推進するビジネス基準

6. STを可能にするSDGsの目標・ターゲット連関表(1/3)

目標・ ター ゲット	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
目標1	1.4	1.5	1.a	1.b								
目標2	2.3	2.4	2.a	2.b								
目標3	3.3	3.5	3.6	3.8	3.9	3.a	3.b	3.c				
目標4	4.1	4.3	4.4	4.6	4.7	4.b	4.c					
目標5	5.1	5.2	5.4	5.5	5.a	5.b	5.c					
目標6	6.1	6.2	6.3	6.4	6.5	6.6	6.a	6.b				

6. S T を可能にするSDGsの目標・ターゲット連関表(2/3)

目標・ ター ゲット	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
目標7	7.1	7.2	7.3	7.a	7.b							
目標8	8.2	8.3	8.4	8.5	8.6	8.7	8.8	8.9	8.10	8.a		
目標9	9.1	9.2	9.3	9.4	9.5	9.a	9.b	9.c				
目標 10	10.1	10.2	10.6	10.b	10.c							
目標 11	11.1	11.2	11.3	11.4	11.5	11.6	11.7	11.a	11.b	11.c		
目標 12	12.1	12.2	12.3	12.4	12.5	12.8	12.a	12.b	12.c			

6.S Tを可能にするSDGsの目標・ターゲット連関表(3/3)

目標・ ター ゲット	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
目標 13	13.1	13.2	13.3	13.a	13.b							
目標 14	14.1	14.2	14.3	14.4.	14.5	14.6	14.7	14.a	14.b	14.c		
目標 15	15.1	15.2	15.3	15.4	15.5	15.6	15.7	15.8	15.9	15.a	15.b	15.c
目標 16	16.1	16.2	16.3	16.4	16.5	16.7	16.8	16.10	16.a	16.b		
目標 17	17.3	17.4	17.5	17.6	17.7	17.8	17.9	17.16	17.17	17.18		

(事例) STを可能にするSDGsの目標・ターゲット一覧

ターゲット	目標 1. あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる【国地総:全般】
1.4	2030年までに、貧困層及び脆弱層をはじめ、すべての男性及び女性が、基礎的サービスへのアクセス、土地及びその他の形態の財産に対する所有権と管理権限、相続財産、天然資源、適切な新技術、マイクロファイナンスを含む金融サービスに加え、経済的資源についても平等な権利を持つことができるように確保する。
1.5	2030年までに、貧困層や脆弱な状況にある人々の強靱性(レジリエンス)を構築し、気候変動に関連する極端な気象現象やその他の経済、社会、環境的ショックや災害に暴露や脆弱性を軽減する。
1.a	2030年までに、貧困層や脆弱な状況にある人々の強靱性(レジリエンス)を構築し、気候変動に関連する極端な気象現象やその他の経済、社会、環境的ショックや災害に暴露や脆弱性を軽減する。
1.b	貧困撲滅のための行動への投資拡大を支援するため、国、地域及び国際レベルで、貧困層やジェンダーに配慮した開発戦略に基づいた適正な政策的枠組みを構築する。

7. SDGs(目標・ターゲット)連関によるSTのビジネス基準

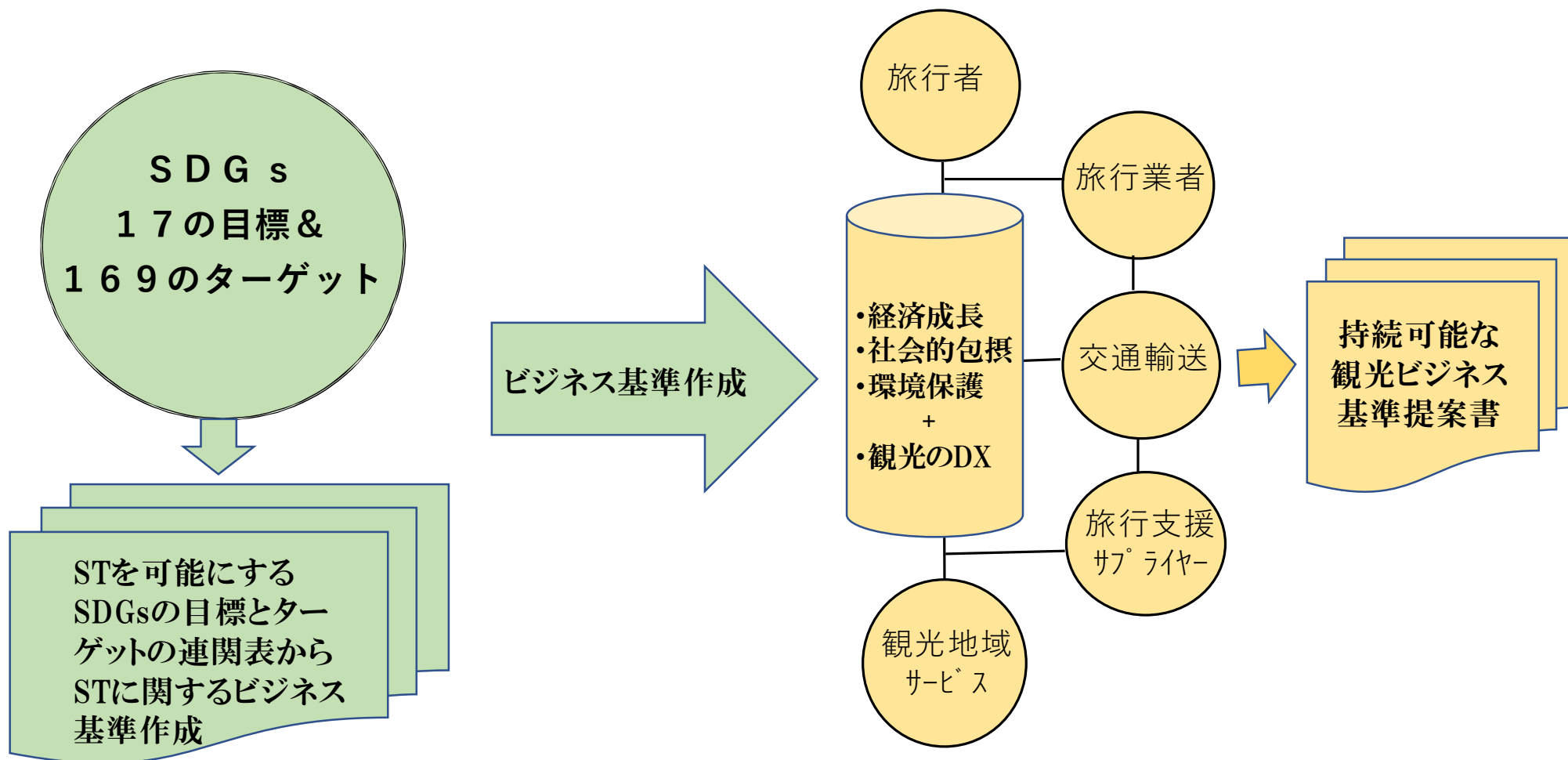


図-3 SDGs目標・ターゲットから見るSTビジネス基準書作成

8. ビジネス基準作成作業実施について(案)

STをSDGsの17ゴールをベースにビジネス基準案作成を行う。

作業は検討メンバーを5グループで作成し、作業目標は5月末とする。

(SDGSからのビジネス基準に加えて下表の追加事項も加味した観光のビジネス基準を作成。)

SDGsビジネス基準 作成 作業分担 (配慮する追加事項)	旅行者	交通輸送	旅行業者	旅行支援 サプライヤー	観光地 サービス	備考
(訪問客の安全)	○	○	○	○	○	国際交流とパンデミック等への対応
(観光産業)	○	○	○	○	○	遺跡・伝統文化の保存、社会と共生
(社会環境)	○	○	○	○	○	経済、社会環境への配慮
(観光のDXの推進)	○	○	○	○	○	情報流通・旅行ネットワークの安全な提供
(観光地域)	○	○	○	○	○	地域の持続化、環境保存、QOL向上
検討グループ	A	B	C	D	E	プロジェクトメンバーを 5グループに分けて作業を実施する

表8-1 ST・ビジネス基準作成作業について